



Tarkovsky, Atomosphere

生誕 90 年記念

タルコフスキー、
アトモスフェア

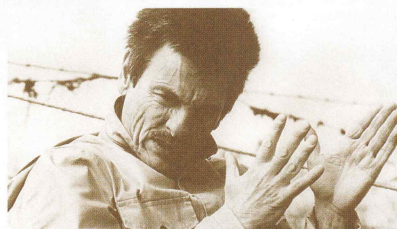
2022

5.7^④ - 5.20^⑥ 渋谷 ユーロスペース

映画大学の卒業制作『ローラーとバイオリン』
労働者セ르게イと少年サージヤの魂が交流するとき
そこにはかならず、大気にゆらめく官能的な光の戯れがあった
以来、その作品空間に繰り返しあらわれる
人間の生の条件として、人の心が交わる不可欠の媒介としての
濃密な世界観を支えてきたタルコフスキーの大気圏
アトモスフェア
いまその圏域へと――

アンドレイ・タルコフスキー

Андрей Арсеньевич Тарковский
1932年4月4日～1986年12月29日

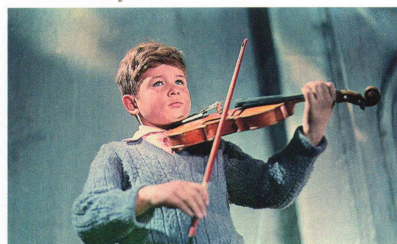


本2022年で生誕90周年を迎えるソヴィエト出身の映画作家、アンドレイ・アルセニエヴィチ・タルコフスキー。長編監督作は7本と寡作だが、水、雨、光など自然を駆使した抒情的な作風により映像の詩人と呼ばれ、世界中の映画ファンを虜に。ソ連からフランスに亡命して僅か2年後、54才で肺ガンによりパリで客死。

上映作品

ローラーとバイオリン

Каток и скрипка

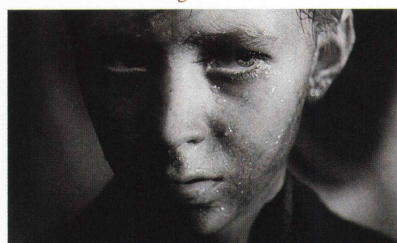


1960年 | カラー | デジタル | スタンダード | 46分
1961年ニューヨーク国際学生映画コンクール第一位

バイオリン大好き少年サーシャは苛められているところを、ローラーで整地作業をする労働者セルゲイに助けられた。二人は親しくなるが、サーシャの母親はそれを快く思わない…。A・ラモリスの『赤い風船』に刺激された作品と言われている。

僕の村は戦場だった

Иваново детство



1962年 | モノクロ | デジタル | スタンダード | 94分
1962年ヴェネツィア国際映画祭サン・マルコ金獅子賞
1962年サンフランシスコ国際映画祭監督賞

長編第一回監督作品。第二次世界大戦下のソ連。両親と妹をドイツ軍に殺され、一人ぼっちになった12才の少年イワンは復讐心に燃える。パルチザンに協力し、危険をおかして敵占領地域への偵察活動に従事するが…。戦争の悲惨さと虚しさが浮かびあがる傑作。 デジタル・リマスター版

アンドレイ・ルブリョフ

Андрей Рублёв



1967年 | モノクロ&カラー | デジタル | シネスコ | 182分
1969年カンヌ国際映画祭国際映画批評家連盟賞
1973年ジェシエ賞(フィンランド)外国語映画賞 他多数

時は15世紀初頭。ロシア最高の伝説的イコン画家、アンドレイ・ルブリョフの生涯を描き、同時に当時のロシア社会をあぶりだした意欲作。ロケ地となったノヴゴロドなどの古都も美しく印象に残る。

惑星ソリス

Солярис



1972年 | モノクロ&カラー | デジタル | シネスコ | 165分
1972年カンヌ国際映画祭審査員特別賞 他多数

世界SF映画史上に金字塔を打ち立てた作品。海と雲に覆われ、生物が確認されていない惑星ソリスの海は理性を持つと科学者は考え、海と接触しようと試みるが失敗。宇宙ステーションは混乱に陥り、地上との交信は途切れる…。極限状態にある人間の心に焦点を当て、哲学的命題を観客に投げかける。 デジタル・リマスター版

鏡

Зеркало



1975年 | カラー | デジタル | スタンダード | 110分

タルコフスキーの自伝的要素の濃い作品。過去と現在の交差から私の記憶が蘇る。家族の許から去った父。母の勤める印刷会社の同僚の死。第二次世界大戦、文化大革命、中ソ国境紛争など、激動の世界情勢を通し心象風景が形づくられる。母のカットに流れるのは、タルコフスキー自らが詠む実父アルセニー・タルコフスキーの詩である。

ストーカー

Сталкер



1979年 | カラー | デジタル | スタンダード | 163分
原作:ストルガツキー兄弟著『路傍のピクニック』
1980年カンヌ国際映画祭エキュメニカル賞
1983年ファンタスポルト映画観客審査員賞

隕石でも落ちたのか、大地に突然現れた空間には(願掛けの部屋)が存在する…ストーカーと呼ばれる案内人に導かれ、作家と科学者はゾーンへと向かった。雨、水、火などを駆使して規制の多い当時のソビエト社会の暗喩と、そこに生きる人々の苦悩と未来への希望を描く。タルコフスキーの名を世界映画史に刻印した作品。

ノスタルジア

Nostalgia



1983年 | カラー | デジタル | ヴィスタ
イタリア=ソ連合作 | 126分
1983年カンヌ国際映画祭創造大賞/国際映画批評家連盟賞
エキュメニク賞

イタリア、トスカナ地方。病に侵されているモスクワの詩人アンドレイと通訳のエウジェニアが、18世紀ロシアの音楽家パヴェル・サスノフスキーの足跡を辿る。混迷の世界とそれを変える心を叙情的に描き出す。主人公アンドレイの詠む詩は、タルコフスキーの父、アルセニーによるものである。

©1983 RAI-Radiotelevisione Italiana. LICENSED BY RAI COM S.p.A.-Roma-Italy. All Right Reserved.

5.7^土~5.20^金

ユーロスペース

EUROSPACE

渋谷・文化村前交差点左折

tel 03-3461-0211 | www.eurospace.co.jp



上映期間中、トークイベントを予定!